

JSS だより

平成 29 年 5 月 20 日 第 03 号

シンガポール日本語補習授業校

先週の PA 総会、授業参観、学級懇談会への出席誠にありがとうございました。

それぞれ 258 名 (94%)、313 名 (114%)、302 名 (110%) の参加がありました。どうぞ、本年度も学校へのご理解とご協力を宜しくお願い致します。

その折に出ました主な質問についてお答えします。

教育課程の配当時数について

文科省の配当時数は、学習指導要領によって定められた各学年の学習内容に応じた「標準時数」を基準とした時数です。小学校低学年ほど多くとってあります。これに比べ本校は、週 1 回、土曜日午後 3 時間の授業であり、文化的行事時数を除くと各学年 103～106 時間になります。小学部低学年ほど差 (小学 2 年生では 1/3 ほど) が生じます。これは本校に限らず全世界の補習授業校の課題でもあります。それ故、1 時間の授業がいかに貴重で大切であるかが分かります。なるべく欠席をしないように！というのは、このようなことも理由の一つなのです。

宿題について

補習校では、その日の授業の復習を中心に宿題を出しています。長期欠席の場合は、学年毎に年間指導計画表を配付しておりますので、それを参考に欠席した日の授業内容をご家庭でも親子で取り組んでいただければ幸いです。教科書を中心とした課題や漢字の書き取り・音読などを基本に復習や自習を進めてください。

なお、長期休業期間中は各種コンクールに取り組むいい機会でもあります。

また、日本への宿題の郵送などは対応ができませんのでご理解ください。

本校長期休業日の取り方について

本校は日本人学校校舎を借用していますので、長期休業日の取り方も基本的に日本人学校に合わせています。工事や床のワックスかけ、清掃等が行われるのもこの期間中です。また、本校の授業日数の確保 (年間 40 日以上) を念頭に置いて計画を立てます。本年度日本人学校は、体育館やプール等の床張り替え工事 (8 月いっぱい予定) が計画されています。どうぞ、ご理解ください。



<小 1～2 年生児童集会>
(読み聞かせ)



<小 3～6 年生児童集会>
(校長先生の自己紹介「青春プレイバック」)